

水の有効利用促進事業

[455]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0301	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	01	安心な水の供給による信頼される水道（安全）	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（元年度分）	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	市内水道利用者	水の有効利用に協力してもらうための啓発活動を行う。 水道週間(6/1~7)、水の週間(8/1~7)に ・6月に水源地等の水道に関する施設見学を実施している。 （令和2年度については、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・8月に木曽川上流域との交流事業を実施している。 ・庁舎及び配水場フェンスに横断幕、尾張旭駅南北線エレベーター棟外壁に懸垂幕を掲示している（令和2年度については規模縮小）。 ・水道水の缶（県企業庁からの配布物品）の配布をしている。 ・広報誌に記事を掲載している。 ・市内主要施設、小中学校にポスターを配布、掲示している。
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
当市の水道水は、全て愛知用水水道からの受水であることを理解してもらい、水の有効利用についての意識を高める。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	水源地見学等に参加した人数	人	40	68	80	72
	広報誌への記事の掲載回数	回	4	4	4	4
成果指標						
事業費 計			296	524		350
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	296	524	

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	一人一日平均水量対前年度比0.4%低下しているものの、毎年低い水準を保っている。引き続き、啓発事業を継続し、水道に関する理解の促進を図る。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	未設定
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

上水道施設維持管理事業

事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0101	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	災害に負けないたくましい水道（強靱）	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 水道利用者 上水道施設 	<ul style="list-style-type: none"> <上水道施設> 上水道施設管理センター、柏井・旭ヶ丘配水場、南山・吉岡・桜ヶ丘調整池等配水管 水道法に基づく水質検査の実施(検査機関に委託) 上水道施設の保守管理 (定期巡回、24時間遠方監視及び異常時対応業務を専門業者に長期委託) 上水道施設の防犯監視 (24時間防犯監視及び異常時対応業務を専門業者に長期委託) 上水道施設の保守点検 (電気機械設備等の点検を専門業者に委託) 上水道施設の補修(修繕) (点検・調査結果及び修繕計画に基づき実施)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・安全で安定した水を供給するため、上水道施設が適切に維持管理されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	・水質検査を実施した件数(検査機関へ依頼した件数)	件	48	48	48	48	
	・上水道施設の補修件数	件	4	9	3	10	
成果指標	・水質基準値を超えた検査項目の件数	件	0	0	0	0	
	・上水道施設の管理機器の故障による事故件数	件	0	0	0	0	
事業費 計			29,846	40,907		35,028	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		8,840	8,585		8,903
		オ 一般		21,006	32,322		26,125

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 なし	現状の成果は、重大な事故件数=0件であり、これ以上の成果指標の向上余地はない。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	更なる水質管理の徹底を実現するため、適切な水質検査を実施するほか、水安全計画の策定を検討します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

令和元年11月に水安全計画を策定した。

上水道施設整備事業

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0102	実施計画	対象
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	災害に負けないたくましい水道（強靱）	担当	都市整備部 上水道課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 水道利用者及び水道利用可能者 上水道施設 	<p>開発事業(区画整理、宅地分譲等)、経年管の布設状況、配水施設の稼働状況に基づいて、下記の工事を行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 新規配水管(耐震管)の布設工事 既設配水管の布設替(耐震化)工事 幹線水道管等の耐震化工事 配水施設(配水場等)の設備改良、更新及び耐震化工事 <p>整備費用は、直営負担の場合と、開発事業者等の負担(一部負担)の場合がある。</p> <p>財源不足により施設更新を鈍化させないとの考えの下、必要な収入を確保するため、財源不足が生じ企業債発行が必要と考える令和2年度より、新たな企業債を発行する。</p> <p>企業債発行予定額 令和2年度 110,000千円、令和3年度 152,000千円 令和4年度 133,000千円</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	整備配水管の延長	m	4,497	6,038	4,633	6,513	
	配水施設等改良、更新及び耐震化、補強件数	件	0	1	1	1	
成果指標	幹線管路の耐震化率	%	27.9	30.3	31.5	32.6	
	配水施設・経年管における不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0	
事業費 計			459,208	482,712		617,978	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		35,492	39,849		76,829
		オ 一般		423,716	442,863		541,149

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>幹線管路の耐震化率は、平成30年度の実績に比べ2.3ポイント上昇し32.6%となった。</p> <p>また、水道利用者に影響を与えるような配水施設、経年管等における大きな不具合やトラブルはなかった。</p> <p>配水管の新設及び布設替え延長の増加は、耐震化率の上昇に直結する。</p>
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	引き続き耐震化への布設替による老朽管の更新と幹線水道管の耐震化を計画的に実施します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

配水管の老朽化率は、計画値より1.5ポイント低い水準に抑制することができた。また、幹線水道管の耐震化率は、計画値を1.1ポイント上回る実績となった。

給水管維持管理事業

[454]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0103	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	災害に負けないたくましい水道（強靱）	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（元年度分）	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	<ul style="list-style-type: none"> 水道利用者 給・配水管 	<p>< 給水管・配水管等の修繕工事手順 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 市役所開庁時（平日） 市民等からの漏水情報（電話連絡等）により管工事業協同組合が現場確認漏水原因の調査及び修繕方法の検討状況により修繕工事業者の派遣を管工事業協同組合に依頼 工事業者と打合せ後、工事施工 工事完了確認 市役所開庁時（夜間、休日） 待機、受付、立会業務については管工事業協同組合に委託 市民、宿直等からの漏水情報により当番職員が現場確認 現場状況を市に報告。市の依頼により修繕工事業者の手配 修繕工事施工 工事完了報告
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	

・給配水管等を補修し水の安定供給ができています。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	給水管の布設替件数	件	30	32	30	37	
	給水・配水管の補修件数	件	212	220	140	227	
成果指標	修繕率	%	0.83	0.85	0.61	0.76	
	有収率	%	95.19	95.19	96	93.99	
事業費 計			65,407	70,549		73,480	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					1,047
		エ その他		941	1,453		
		オ 一般		64,466	69,096		72,433

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高度成長期の住宅建設に伴い設置した給水装置の老朽化に伴い、補修件数（修繕率）は増加している。 補修の多くは水道メーター周りでの止水栓不良が多く、敷地内での工事となるため、計画的な更新事業ができない。 管工事業協同組合員の高齢化や事業縮小（機械レンタル、配管工の下請化）が進み、緊急修繕体制の維持が難しくなっている。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	管工事業協同組合と連携し、サービスの向上を図ります。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

・今後も管工事業協同組合と連携して緊急修繕体制を整え、適切な維持管理に努める。

事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	33-0201	実施 計画	
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	03	いつまでも続く安定した水道（持続）	担当	都市整備部 上水道課		

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要（元年度分）	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	企業債の償還元金・利子	償還元金 償還期間に応じて、元利均等又は元金均等の償還方法にて支払いをする。
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	平成30年度末の借入状況 財務省 5件 377,396,735円 地方公共団体金融機構 7件 124,726,207円
	企業債の元金・利子が、金銭消費貸借証書に基づき、償還期日に約定どおり返済されている。	償還利子 借入残高に応じて、約定利息分を償還利子として支払いをする。 利率 3.15%から5.65%

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計						141,825
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				141,825

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	新規
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

受水事業

[457]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0902	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・水道利用者	尾張旭市は、県営水道から水を購入(受水)し、各戸へ供給している。 ・県営水道に対し毎年度、次の事務を行う。 次年度の承認基本水量の承認を受ける。 <手順> 給水人口、1日最大給水量等需要量の予測を行う。 8月中旬...県営水道のヒアリングを受け、その後変更及び給水申込を行う。 11月下旬...県営水道より承認を受ける。 ・毎年度10月下旬までに行う事務 (県水受水費算定のため) 前年度の給水人口及び年間配水量確定届を県営水道へ提出する。 当年度末の給水人口、年間配水量を予測し県営水道へ協議書を提出する。 次年度の年間受水計画書(月別の1日最大受水量等の需要量を予測)を県営水道へ提出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
・県水が安定的に受水できている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	・年間総受水量	立方㍎	8,516,420	8,561,405	8,520,000	8,598,776
成果指標						
事業費 計			602,061	601,292		605,086
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		602,061	601,292	

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

水道料金徴収事業

[458]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0903	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	水道利用者	水道料金検針から徴収に至る業務を効率的に行う。 ・水道利用者からの水道利用開始及び中止申請を受け、開閉栓作業を実施 ・市内を東西2地区に分け、東地区を奇数月、西地区を偶数月とし、それぞれ隔月に検針を実施(検針期間：毎月5日～10日) ・使用水量確定後、水道料金の計算及び決定(毎月25日頃)
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	徴収方法 口座振替 検針月の翌月25日振替、振替不能の場合、翌々月10日再振替 納付書支払 納期限：検針月の翌月末 納付場所：金融機関及びコンビニの窓口 ・検針の精度を維持するため、量水器(メーター)の定期取替を毎年5～11月に実施 (取替対象：有効期間満了(8年)となる量水器、民間に委託)
	効率的な水道料金徴収が行われている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	水道料金調定件数 (検針件数)	件	172,863	175,373	178,000	177,521	
	督促状送付件数	件			6,740	6,262	
成果指標	水道料金収納率 (現年分)	%			99.6	99.6	
						6,445	
事業費 計			88,300	103,697		102,178	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	88,300	103,697		102,178

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	活動指標、成果指標ともに、料金徴収の流れに沿った事務を行っており、その他の料金徴収の面から数値を向上させる余地は少ない。
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

地域水道ビジョン推進事業

[1136]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0904	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	給水区域内の水道利用者	水道事業の現状と将来の見通しを分析・評価した上で、目指すべき将来像を描き、その実現のための具体的方策等を示すものとして、平成20年3月に「尾張旭市水道ビジョン(計画期間10年間)」を策定した。 平成25年3月に、厚生労働省において、将来の人口減少等水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン」を全面的に見直した「新水道ビジョン」が策定され、平成26年5月に「新水道ビジョン推進のためのロードマップ」が作成されたことを受け、平成30年3月に「尾張旭市新水道ビジョン(計画期間10年間)」を策定した。新水道ビジョンが示す安全、強靱、持続の3つの観点に基づき事業の進捗管理を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<事業計画> 平成20年3月:「尾張旭市水道ビジョン」策定 平成20年度以降は、進捗状況の管理を行う。 平成29年3月:「水道施設長寿命化計画」策定 平成30年2月:「経営戦略」策定 平成30年3月:「尾張旭市新水道ビジョン」策定 平成30年度以降は、進捗状況の管理を行う。
	健全な経営状態のもと、老朽管の計画的な更新がなされ、水道利用者へ安全で安定した水道水の供給が行われている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	水道ビジョン達成を確認する業務指標数	件			8	8	
	水道ビジョン達成への実現方策数	件			20	20	
成果指標	水道ビジョン業務指標の達成率	%			100	75	
	水道ビジョン達成への実現方策実現率	%			75	20	
事業費 計			13,824				
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		2,430			
		オ 一般		11,394			

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>業務指標の達成率については、管路の耐震管率、有効率において計画値にわずかに及ばなかったが、計画的な工事の実施等を引き続き行う。実現方策実現率については、20の項目に対し、段階的に取り組みを実施している。計画上、実施年度に達していない項目もあるため、実績率が低いものの、実施年度に達している項目については、計画的に事業を推進している。</p>
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

水道事業会計繰出金

[1297]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	97-0106	実施計画	
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	水道事業会計	災害対策の自家発電整備事業に係る事業費の2分の1を一般会計から水道事業会計へ繰り出す。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
水道事業会計へ適切な繰出しを行うことによって、水道事業が円滑に運営できている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円	2,430		12,650	12,600	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	2,430		12,650	12,600	

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0505	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	評価対象外	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務、課員	文書の收受(500件、70時間) 文書の発送(600件、100時間) 庁内文書の処理(3,000件、150時間) 庁内外の照会文書の調査・報告 (100件、50時間) 行政評価の管理(100時間) 出張命令の整理 (10時間) 課内の備品・消耗品の調達・管理(10時間) 会計事務 (支払伝票作成、1,200件、140時間)(収入・振替伝票作成、1,100件、90時 間) 予算、決算に関する事務(2,000時間) 文書等コピー・印刷・製本(2 0時間) 公用車の管理(20時間) 郵便物の発送(30時間) 電 算機器、無線機等の管理(5時間) 会議・研修会参加事務(10時間) 各種賠償保険に関する事務(5時間) 作業服・防寒服の購入(5時間) 各種入札・契約事務(決裁 指名通知 配布 入札 契約 台帳整理、50件、 200時間) 資産管理事務(新規登録、除却、減価償却：70時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
上水道課の庶務的な事務が迅速かつ適正に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計			497,212	489,696		350,752	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	497,212	489,696		350,752

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-